

公益財団法人

日本教育公務員弘済会

福井支部のしおり



福井市足羽第一中学校



越前町立四ヶ浦小学校



福井県立高志高等学校

Contents

年頭にあたり

令和6年度 福井支部事業報告

教育文化活動助成活動報告

「学校応援キャンペーン」学校賞 当選校の発表

走力アップ教室

ボランティア・スピリット・アワード受賞校

令和7年度 福井支部事業計画

共済事業のご案内

令和7年度貸与奨学生募集のご案内

2025.1発行
vol
40

年頭にあたり

公益財団法人 日本教育公務員弘済会福井支部
支部長 藤田清憲



新年明けましておめでとうございます。

日本教育公務員弘済会（日教弘）の会員ならびに県内教育関係の皆様には、日ごろより日教弘福井支部の諸事業の推進にご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。

さて、当支部では、教育に携わる仲間たちの助け合いの輪を広げるという創立の理念のもと、今日の厳しい教育環境の中、明日を担う子どもたちの健やかな成長のため頑張っている教職員の皆さんを応援すべく、福井県教育の振興及び貢献する事業の普及・拡大に努めています。

本年度の教育振興事業は下記のように、①奨学事業では46名に奨学金の貸与・給付を、②教育研究助成事業では、14団体、19研究大会、80校に助成をさせていただきました。教育実践研究論文は4校から応募いただき、現在審議中で結果については3月に発表させていただきます。③教育文化事業では、延べ262校・園、2大会に助成させていただきました。このように多くの学校・園・教育研究団体や教育研究大会関係者の皆様に教育振興事業を活用いただきました。

教弘保険にご加入いただいている会員の皆様への福祉事業では、結婚・出産・入学や30歳及び40歳健康等の祝い金の給付事業、宿泊や人間ドック、映画鑑賞会等の補助事業でもたくさんの方にご利用いただいています。さらに、「教弘保険」に加入されていなくても教育関係の誰もが加入費・年会費無料でご利用いただける、「日教弘クラブオフ」も展開しています。

今回の後期版では、児童生徒による特色ある創造的な教育文化活動に対して助成している教育文化活動助成の各校の活動状況を掲載させていただきました。どの記事からも子どもたちの生き生きとした様子が伝わってきます。

また、提携保険会社である「ジブラルタ生命」主催の小学校における「走力アップ教室」、地域のため、社会のためにボランティア・スピリットを発揮し、自ら行動を起こしている中学生・高校生を称える「ボランティア・スピリット・アワード」や、特別支援学校における「パラフットボール教室」の様子も掲載させていただきました。

今後も、公益法人財団としての使命を果たすべく教育振興事業の一層の充実を図り、「最終受益者は子どもたち」を理念として、福井県の教育の振興・発展に尽力する所存です。

令和6年度 福井支部事業報告

教育振興事業

(令和7年1月5日現在)

★①奨学事業

・貸与奨学金	12名	1,000,000円
・給付奨学金	30名	3,000,000円
・大学給付奨学金	4名	5,760,000円

★②教育研究助成事業

・教育研究団体助成	14団体	1,800,000円
・教育研究大会助成	19大会	2,190,000円
・教育研修助成	70校	2,800,000円
・特別支援学校教育支援	6校	300,000円
・教育実践研究論文	4校	※3月発表予定

★③教育文化事業

・教育図書贈呈	中学校 67校	2,179,012円
	高校 31校	1,316,649円
	特別支援学校 12校	236,445円
	国公立幼稚園 9園	87,670円
	公立認定こども園 26園	250,115円
・教育文化活動助成	96校	7,680,000円
・へき地複式学校支援	21校	1,050,000円
・教育文化・芸術・スポーツの振興	2大会	500,000円

★福祉事業・福祉関連事業に関しましては、次回号にてご報告いたします。

たすけあいの輪

日教弘（弘済会）は、学校・教職員、ジブラルタ生命との「たすけあいの輪」を広げ、「最終受益者は子どもたち」の理念のもと、教育振興の充実を図るとともに会員の皆様の生活に安心と潤いをお届けします。



公益財団法人日本教育公務員弘済会（略称：（公財）日教弘）の教育振興事業（奨学事業、教育研究助成事業、教育文化事業）及び福祉事業は、教弘保険の契約者配当金により運営されており、日本の教育界に貢献しています。

教育文化活動助成 活動報告

県下の伝統文化の保護・技能の継承、科学技術の発展、自然環境の保全、国際交流等の発展・向上を目的とし、特色ある創造的な教育文化活動に対して、今年度は、以下の96校に助成をさせていただきました。



福井市東安居小学校



3年生は、公民館長より防災の話は何度も聞き、防災の目線で街探検を通して危険箇所を見つけ、防災マップを作った。その後、家庭で話し合ったり、被害に遭ったときの対処法などを聞いたりしながら、安心安全な町について学びを深めている。

4年生は、社会福祉協議会の方より福祉についての話を聞いた。今後は、福祉体験活動を通して、やさしい町づくりについて考えを深めていく予定である。

福井市順化小学校



10月下旬の教育ウイーク中に、全校児童と保護者を対象とした「オータムコンサート」を設定した。演奏者として、マリンバ・パーカッション デュオ「パルスドゥ」を迎え、児童を巻き込んだの参画型コンサートとなった。児童は、音楽の教科書にのっているクラシカル曲からディズニーやジブリ、オリジナル曲など、様々なジャンルの曲を通して、それぞれの興味関心や音楽の魅力、さらには打楽器の奏法で魅了されていた。

福井市宝永小学校



学校教育に精通し、地域にお住まいで外国語教育に長けておられる永井和美氏にゲストティーチャーとしてお越しいただいている。第1学年から第4学年を中心に、10月末現在、1日2学年ずつ計6日間、学級担任や専科教員とともに授業を展開していただいた。その間、永井氏からの教材の提案と提供があり、児童は絵カード等を使ったゲーム活動やイングリッシュソングに合わせた学習活動を通して、英語に慣れ親しんだ。中には学習したことを、週に一度訪問するALTとのやり取りに使うと楽しみにしている児童も見られた。

福井市和田小学校

和田地区は、地域の外部団体とつながって教育活動を充実させることができている。特に中学年は地域密着型で連続性のある活動を展開しています。3年生は地区の特産品



「赤大豆づくり」や和田音頭の継承を地域の方の力を借りながら行っています。4年生では、高齢者のために自分たちでできることを考え、デーホームを訪問し、ふれあい活動を行っています。いずれも地域の魅力に気づく活動につながっています。

福井市円山小学校

円山小学校では、総合的な学習や社会科の時間などを利用して、地域の方々の協力を得ながら円山地区や福井市、福井県など、郷土についての学習を進めている。5年生は、地域の町興しグループや公民館の方々の協力を得ながら、円山地区で進めているリゾート米を利用した活動に参加している。4年生は、県内の伝統的な産業や丸岡城などについてインターネットなどで調べたり、実際に訪れたりして学習を進めている。



福井市啓蒙小学校

3年生が地域の伝統野菜「新保なす」の苗植えを5月に行った。地域農家の方々の協力により、順調に生育していった。児童もなすの生育の様子をタブレットで記録したり、表やグラフにまとめたりと探求的に学習を進めた。7月には、採れたてのなすをピザ風焼きなすに調理し食べた。調理の補助に、福井農林高校の生徒がボランティアとして手伝ってくれた。伝統野菜の継承だけでなく、地域の温かさに触れたよい機会となった。



福井市西藤島小学校



生活科・総合的な学習の時間などに、西藤島地区および福井市・福井県の人・もの・自然・施設などのよいところを見つける活動をしています。子どもたちは「こんなところがあったんだ」「こんながんばっている人がいたんだ」と新たな発見や人との出会いから、「自分・自分たちにできることは何だろう」と考え、「自分・自分たちもやってみよう」「こんなことしてみたいな」という思いが出てきています。

福井市社北小学校



「もっと自由に！ もっと楽しく！ 念いを伝えよう！」書家でありプレゼンターである前田謙利さんによる創立150周年特別講演会を開催しました。「伝えれば〇〇が近く」という演題で、伝えることの楽しさについてお話ししていただき、子供たちは〇〇の中に、未来や夢、希望…という言葉が入ると感じたようです。講演後の書道パフォーマンスでは、180cm四方の紙に学校教育目標を書いていただきました。

福井市河合小学校



本校では、『人とつながる、地域とつながる、河合地区の魅力発見』をテーマに、地域に誇りと愛着を育む学習を推進しています。河合公民館やハーネス河合（農事組合法人）等と連携したり、河合地区に古くから伝わる凧づくりや凧あげ大会、茶道、伝承遊び、民話等について地域の方を講師としてお迎えしたりして学ぶ場を積極的に取り入れています。また、3年生が河合地区にこにこ長寿祭でお年寄りに地域学習の発表を行いました。

福井市麻生津小学校

本校が創立150周年を迎えるにあたり、児童に母校や地区に愛着と誇りを持ち、地区の方々に感謝の気持ちを伝えることをねらい、2つの事業（創立記念式典・150周年記念校内体育大会）を行った。式典では、地区の方々に「よびかけ」という形で全校児童が感謝の気持ちを伝えた。体育大会では、地区の方とのふれあいを目的に、6年生が「親子ふれあい借り物競走」を行い、児童と手を繋いで走るなど、心温まるシーンがみられた。



福井市岡保小学校

3年生と4年生が、越前陶芸村へ校外学習に出かけた。社会科の地域学習としては一般的に4年生が関わるものであるが、今年は、3年生も一緒に行くことで、2年かけて2カ所に行くことができるようにした。児童は、焼き物の皿への絵付け体験で自由な絵柄で絵付けをすることができ、とても楽しんでいた。体験以外にも越前焼の窯や壺などを見学することができて、福井が誇る文化の一つである越前焼について深く知ることもできた。



福井市東藤島小学校

東藤島地区内にある西超勝寺には、日本美術界の偉人、岡倉天心の墓がある。このことから本校の6年生は、岡倉天心忌に参列したり、地区顕彰会の方からその業績を学び、自分たちでも調べて、地域に発信したりする学習を続けている。また、岡倉天心だけでなく、福井のさまざまな偉人についてふるさと福井の偉人等を活用し、調べ学習を行い、まとめ活動も行っている。



福井市鷹巣小学校



社会科で伝統的な福井県の産業を学習している。越前和紙の里へ校外学習に行き、児童らが実際に紙すきを体験した。児童らは、「だれでも和紙づくりを体験できるとは思わなかった。飾りを秋の模様にして、色を工夫することができた。」「紙の博物館で、1300年ぐらいも前の紙があると知っておどろいた。」などと振り返ったり、新たに「私たちが普段使っている紙と和紙との違いについて知りたい」などの問いをもったりした。

福井市長橋小学校



本校は全校児童14名の少人数であるため、校内体育大会は休日開催している。保護者の方や地域の方にたくさん来ていただきたいと考え、児童だけの種目だけでなく、保護者の方や地域の方も参加できる種目を工夫した。また、放送や競技の準備などをPTAの方に手伝っていただいた。児童は、保護者や地域の方と楽しく活動しながら、大いに交流を深めることができた。これからも校内体育大会を交流を深める良い機会にしていきたい。

福井市美山啓明小学校

生活科の学習で、低学年が校区の郵便局と図書館の見学に出かけたときの写真である。記録を残して学習に生かすために、購入させていただいたカメラで児童たちは初めて見るものや興味あるものを撮影できた。カメラはタブレットなどより軽くて使いやすく、片手で撮影することもできたことである。その他の写真も、児童たちが授業で記録等で撮影したもので、いろいろな学習に活用している。



福井市森小中学校

校外学習バス代の補助ならびにキャリア教育講演会での外部講師への謝礼として助成金を使わせていただいています。本校は各学年の児童数が少なく、校外学習の際はバス代の負担が大きくなっています。今年度は貴支部より助成をいただき、バス代を気にすることなく活動を実施することができました。また、今後、パラリンピックアスリートを招いての講演会を実施します。



福井市明新小学校



4年生は、「福祉」に関して学びを進めている。今夏に開催されたパラリンピックパリ大会で、日本人選手の活躍をテレビ等で観戦し、自分たちもポッチャ競技を体験したいという思いをもった。児童はルールをすぐに理解し、競技を楽しんでいた。他の学年体育の授業や縦割り活動で競技を体験をすることを通じて、障がい者も健常者も一緒に楽しめること等ポッチャ競技のよさについて感じることもできた。

福井市越廼小学校

書写の单元の中で白川文字学と越前和紙をつなぐ学習を進めてきた。低学年は漢字の成り立ちを学び、越前和紙に簡単な古代文字を墨と筆で表現する活動を楽しんだ。中学年は越廼の海の魅力を考え、古代文字の「海」を筆や絵の具で越前和紙に表現した。高学年は越廼の魅力を越前和紙に漢字1文字で表現した。学習で利用した「越前和紙」の歴史や文化を体験的に学ぶ校外学習を実施し、教室と地域をつなぐふるさと学習の充実を図る。



福井市清水東小学校

清水東地区は、伝統的に菅笠の栽培や菅笠作りを行っている地域です。本校では、地区の菅笠保存会の皆様の御協力のもと、5年生が児童が菅刈りや菅笠についての体験や学習会を行いました。学習会では、①実際に菅笠をかぶって動いてみよう②「笠縫い」と「ささがけ」をみてみよう③菅の土台となる菅骨づくりをみてみようの3つについて教えていただき、菅の良さに触れることができました。後日、菅笠づくりをする予定です。



福井市酒生小学校

6年生が、県主催のミニコンサート鑑賞会に参加した。

県にゆかりのある3名の音楽家による演奏会で、「キラキラ星変奏曲」、「煌びやかに着飾って」、「スペインのワルツ」、「エーデルワイス」など、多様な曲で構成されていて、小学6年生にも聴きごたえのある内容であった。

日頃の音楽の授業での学習とはまた違った音楽の素晴らしさや楽しみ方に触れることができ、大変有意義な時間を過ごすことができた。



大野市下庄小学校

7月10日に助成事業の交付決定を受け、図書貸出し管理ソフト（スクールプロ）の購入を進めた。この機会に、夏休みを利用して古くなった図書の廃棄と新規図書の入れ替えを大幅に進めた。

また、月2回の図書ボランティアの協力を得て、図書貸出し用バーコードの整備を進めている最中である。3学期をめどにバーコードを活用した貸出しシステムを運用する予定である。



大野市阪谷小学校

本校では、「あおぞらの街・星空の街」をもとに、豊かな心を持ち、あすをきりひらく子の育成に取り組んでいる。シルバー人材センター主催の「ねりん秋市」に全校で参加し、阪谷マイスターの方々に教わりながら栽培・収穫した野菜やお米等の販売をした。また、学級ごとにテーマを決め「あおぞらバスツアー」や「阪谷CM」のお披露目会、OSPPや阪谷歴史調査の報告を来訪者にプレゼンテーションしてPR活動をした。



福井市一乗小学校



全校が地域の今と昔について調査したり発表したりする中で、自分たちのこれからの未来について考える活動に取り組んでいる。4月に「一乗子ども観光大使」として任命され、特に11月中旬に行われる「朝倉ガイド」では、高学年は復原町並や唐門のある庭園のガイド、低学年と中学年は地域の歴史や自然について発表する。また、学びをまとめたパンフレットを作成して広く配布し、地域の魅力を発信する活動を続けている。

福井市文殊小学校



本校の伝統行事「文殊の火まつり」は、泰澄大師が文殊山に文殊菩薩を祀ったことに由来します。まず、文殊菩薩に奉納された火により「校訓の火」が灯され、児童たちが知恵を授かる儀式があり、奉納太鼓が演奏されます。続いて、文殊地区の歴史や文化に関する学年発表が行われます。特に、4・5年生による「文殊伝説」の合奏や6年生による「夢の発表」は恒例となっています。最後は、全校が輪になって「文殊音頭」を踊ります。

大野市富田小学校



福井商業高校チアリーディング部OGのチアドリームプロジェクトメンバーをお招きし、夢や希望づくり、ひとづくりにつながるダンスパフォーマンス及び講演会を開催した。全校児童の他、PTAの呼びかけにより保護者、地域の方々も参加し、活気あふれる講演会となった。メンバー一人一人が「夢ノート」を作り、その実現に向けて努力を重ねたお話は、子どもたちにも感動を与えた。

あわら市芦原小学校



今年度、ふるさと学習の一環として、5・6年生があわらの魅力を発信するため、CM作りに取り組んでいます。学校周辺の魅力ある場所や施設を訪れて調査したり観光で訪れた方にインタビューしたりしながら、CMに使用する材料を集めました。オンライン授業でCM作りのコツを教えていただきながら、タブレット端末でCM作りに励んでいます。完成したCMは、コンテストに応募したり地元の公民館祭りで放映したりする予定です。

あわら市北潟小学校



現在あわら市で体校となっている新郷小学校、吉崎小学校、波松小学校に訪問し、体験活動を行った。4年生は新郷小学校訪問後、本荘小学校へ移動し本荘小学校の4年生と給食を食べたり、一緒に活動したりして交流を行った。また、5年生は吉崎小学校、6年生は波松小学校に訪問し、貴重な体験活動を行うことができた。その活動風景を動画で撮影し、あわら市教育委員会が取り組んでいる「あわらのたから展」の動画部門に出品した。



福井市東郷小学校

ふるさと東郷が大好きになる活動をそれぞれの各学年で展開してきた。1,2年生では、学校や町のたんけんを通して、3,4年生では、地区内の高齢者の方や障害のある方との関わりについて、5年生は東郷地区の産業について、タブレットで撮影、まとめた。6年生は、福井市内や京都市内の班別活動を通して、歴史や文化を知り、比較しながら東郷地区の宝や自分の将来についてタブレットを活用して校内外に発信していく。



永平寺町御陵小学校

プレゼン資料を作成するために、細かな作業はスタイラスペンを用いて行った。また、ペンによる手書き入力ですべてタブレット上で意見交換を進めてきた。

- ・4年生では、福祉について調べたことをパワーポイントにまとめ、全校児童の前で発表した。
- ・3年生では、友達の意見に対してペンを使って手書きで入力し、意見交換を行った。(3年)
- ・5・6年生は発表会に向けて、パワーポイントやイメージを製作中である。



あわら市伊井小学校

市の指定文化財である「細呂木製鉄遺跡」で、5・6年生が遺跡見学やたたら製鉄体験学習を行いました。まず始めに、たたら製鉄の技法、歴史的価値などの説明を聞き、この製鉄技術を発見した古代の人々の知恵に感心していました。

製鉄づくりでは、防護メガネをして高温の炉の中に原料や燃料を入れたり、炉に風を入れたり、炉の模型に入ったりするなど、児童はこの場所でしかできない貴重な体験をすることができました。



坂井市立三国南小学校

「三国町のよさの再発見」を合言葉に、低学年児童は、町探検で町の人々とふれあい、地域の人の温かさや地元三国のよさを感じたことをワークシートにまとめた。中学年は、

三国祭りや三国節について地域の方から学び、学習発表会で発表した。学習発表会の最後には、全学年で大きな輪になって三国節を踊った。6年生を中心に三味線や和太鼓、歌も子どもたちが行い、地元を思うすばらしい時間となった。



坂井市立雄島小学校

助成金でiPad、iPadケース、アダプタ2種を購入した。

地域の方々の協力を得て実施しているサーフィン体験や磯の生き物観察などの学習の様子を、iPadなどで記録撮影した。



各学年が撮影した写真や動画を、6年生がiPadで動画編集ソフトを活用し、地域の魅力を発信するCMを作成した。12グループが作成した作品を、全児童による審査を行い、上位2作品を「ふるさと福井CMコンテスト」に出品する予定である。

坂井市立長畝小学校

10月7日(月)3限目(10:30~11:30)、長畝小学校体育館に全校児童と保護者が集まり、親子で松本紀生氏(愛媛県松山市出身の自然写真家)によるアラスカフォ



トライブを鑑賞した。鑑賞後、児童や保護者は質問をしたり感想を発表したりした。その後、児童は教室で振り返りを書き、感動したことや考えたことをまとめた。下校後は親子で話し合い、自然のつながりや大切さ、美しさについて改めて考えを深めた。

坂井市立磯部小学校



本校では、地域の人々とともに活動することで、ふるさと「磯部」に誇りをもち、地域を愛する児童の育成を目指している。

4年生は、「ふだんのくらしをいっしょに〜いっしょに〜を未来のいそべ〜と題して、地域のバリアフリーについて調べ、みんなが暮らしやすい町にするための提案会を行った。地域から20名以上が来校してくださり、児童の目線から見た危険な場所・改善できそうなことについて活発な意見交換を行った。

坂井市立明章小学校



3年生が総合的な学習の時間に、自分たちの地域(たかどりの郷)の魅力を知る活動を実施した。最初はパンフレットを見ながら、自分たちがもっと知りたいことについて話し合った。その中から4つのテーマを選びグループで探究活動を始めた。課題としてあがったことについては、坂井市の文化学習課の方や地域の方を講師に招き、現地調査を行った。また、11月2日の学校公開日に保護者に中間発表を行った。

坂井市立東十郷小学校



本校は坂井高校と隣接しています。今年度も低学年は生活科まち探検で、高学年は家庭科ミニン実習でお世話になっています。また、プログラミングクラブや花の苗育てを通しての交流も続けています。今後はお礼に坂井高校の方をお招きして各学年が調べた地域の良さを伝えて交流を継続していく予定です。

坂井市立木部小学校

木部地区の中心産業である農業体験やいろいろな人との関わりを通して、児童に地域の自然や人に親しみ、将来地域を守り貢献しようとする気持ちを育むことを目的に活動しています。



米作り体験では、まちづくり協議会の協力の下、もち米の栽培と収穫、笹餅作り、地域の祭りでの販売体験を行いました。さつまいも栽培では、栽培といも掘りを行いました。今後、収穫祭で焼きいも体験を行う予定です。



鯖江市鯖江東小学校

鯖江東小学校では、全校児童から募集されたキャラクター「ひがびょん」が誕生しました。ご当地のメガネをかけたウサギ、さびびょんは児童の発想でデザインされ、投票で選ばれました。このキャラクターはシールやスタンプとなり、持久走記録会や清掃活動などで頑張った児童へのご褒美として活用されています。こうした活動を通じ、子どもたちの自主性が高まり、学校への愛着や連帯感が深まっています。



鯖江市北中山小学校



11月20日(水)、東京で活動中のアノエリカさん(歌手)を講師に迎えて音楽ライブと6年生対象に音楽教室を行った。音楽ライブでは、歌の楽しさや夢をもって生きる大切さ等、キャリア教育形成につながるオリジナル曲とトークを依頼した。子どもたちも事前に県作成「夢へのパスポート」を活用し、夢について考えておいた。音楽教室では、職業としての歌手とマネージャーの仕事について直接学べる貴重な場となった。

越前町立四ヶ浦小学校



閉校に向け、「有終の美プロジェクト」として、保護者や地域の方参加の思い出づくり企画をすすめている。また、再編後一緒に活動する城崎小学校との交流を推進する。①本校保護者所有の進水式前の漁船にて、地域連携型一貫校の丹生高校写真部による記念撮影。②最後の体育大会において、134年の歴史に思いを馳せ、感謝の気持ちと子ども達の未来を風船に託したバルーンリリース。③学校再編に向けた、2校合同交流観劇。

越前町立城崎小学校



5,6年生は閉校に向け「わたしたちとふるさと越前の未来」という課題で、4班に分かれて探求活動を行っている。地域住民のアンケート結果を踏まえ、ふるさと越前のために何ができるかを考え、漁業組合や観光連盟等取材し、貴重な情報や助言を得た。3,4年生は交流活動の一つとして、宮崎のクロダ農園で越前レタスの収穫体験を行った。収穫方法を見学した後、それぞれが選んだレタスを互いに協力して丁寧に収穫した。

南越前町立南条小学校

本校では、地域の多様な人々とのかかわりを通して、地域を知り、地域に貢献するふるさと教育を推進している。今年度は「福井大好きプロジェクト」に全校あげて参加し、町のいいところ大好きなところを絵で表した。その中で多かった「花はす公園」「南えちぜん山海里」を取り上げ、南条の魅力発信のために6年生がCMづくりに取り組んだ。地域の方々の協力と審査会を経て、県主催のふるさと福井CMコンテストに応募予定である。



南越前町立今庄小学校

子どもたちは、地域に出向き、身近にありながら気づかなかったふるさとの魅力について考える活動をしている。2年生は今庄宿で町探検をし、後に訪問先の方を学校に招待して、一緒に給食を食べながら交流を深めたり、インタビューで聞けなかったことについて話したりすることができた。5年生は、9月に稲刈り体験をした。他学年でも「今庄の魅力」を人や物(食・自然・建物など)の各分野で、魅力再発見を計画している。



越前市武生東小学校

本校は、63年前に本校児童が飛ばした風船が縁で、現在でも浜松市積志小学校との交流が続いており、毎年5年生が互いの学校を訪れている。交流の際には「越前市の特色」についてプレゼンしたり、文通相手への手紙に児童一人一人が作成した「越前市を紹介したリーフレット」を添えたりした。児童が使えるプリンタ等の周辺機器の導入により、一人一台端末をより活用できるようになり、両校の交流を充実したものにすることができた。



越前市武生西小学校

本年度より武生西小学校では、「西」のWESTとSDGsを組み合わせたWE-SDGsに取り組んでいます。WEには、「私たち」という意味もあり、私たちの手で西小学校のSDGsを推進していこうという気持ちが込められています。12月21日には、地区対抗でモルック大会を実施して生涯スポーツとしての「モルック」に挑戦します。得点を競うだけではなく、誰もが木のぬくもりを感じながらゆっくり楽しめるスポーツです。



越前市服間小学校

地域と協働して取り組むふるさと学習の一環として、シニアクラブや地域農家の方々の指導で1年生はさつまいも、4年生は3年時に育てた大豆から作ったみそ、5年生は田植えから稲刈りまで行い育てた米を使用し、仁愛大学生の協力のもと考案した小次郎おにぎりなど、それぞれをふくま地区文化祭で販売した。販売体験などを通して、地域の方々との触れ合うことができ、より一層ふくま地区への愛着が深まる活動であった。



越前市岡本小学校

11月に1,2年生が、校外学習で越前市ハツ杉森林学習を訪れ、自然に親しむ活動に取り組んだ。児童は、ハツ杉の山で落ち葉集めを行い、その落ち葉を使って、学校の畑で育てたさつまいもを焼き芋にして、みんなで食べた。また、ガイドの先生について森の中を散策した。植物を触ったり匂いをかいだり、きれいな落ち葉を見つけて集めたりして、五感を働かせて秋の自然を感じてきた。



越前市神山小学校



1年生が、国語の時間に学習した「くじらぐも」の話を保護者や地域の方に発表する機会がありました。雲のクジラと校庭の子供たちの役に分かれて劇をし、セリフを覚えて伝えたり、音楽に合わせてみんなで歌ったりしました。

その劇に出てくる「青空に浮かぶ雲のくじら」を児童みんなでイメージしながら作成し、大道具として発表の中で使用しました。

越前市吉野小学校



家庭・地域・学校が協働して楽しい学校づくりをめざして、10月26日(土)にわいわいスマイルフェスタを行いました。体験の講師として、教育振興会(P.T.A)、公民館、民生委員の方々など地域の方々にご協力いただきました。吉野地区に伝わる太鼓を体験したり、消防車にふれて地域の消防団活動を知ったりと児童にとっては、楽しい思い出ができたとともに、地域に愛着をもてた行事になりました。

越前市北日野小学校



6年生は京都への修学旅行で、ジャンボタクシーを利用した班別研修を実施した。特にJR京都駅では「越前市PR作戦」の一環である、手作りパンフレットの配布を行った。子供たちは、越前市の良さを一生懸命伝え、手ごたえを感じたようだ。これらの活動は、10月に開催された『北日野っ子学びフェスティバル』で、保護者・全校に向けて紹介したほか、地元『きたひのみつり』でもPR作戦が展開された。また福井新聞にも掲載された。

敦賀市立角鹿小中学校



本校は、角鹿中学校区の3つの小学校が統合し、施設一体型の小中一貫校として令和3年に開校した。9年間の連続した学びが可能であるという強みを生かし、校区の伝統・文化、自然、産業、街づくりに焦点を当てた「ふるさと教育」に取り組んでいる。各学年でテーマを設定し、児童生徒が地域に出かけ、地元の人たちと関わる活動を大切にしながら取組を進めている。

若狭町立気山小学校



6月14日(金)に、親子自然観察会でかや田での生き物調査をしました。「かや田」は県の絶滅危惧種のうち19種類が見られ、県内でも有数の重要な里地となっています。ホトケドジョウ、イモリ、ダルマガエル、ヤゴなど、親子で泥んこになりながらたくさんの生き物を見つけることができました。今回は、大変貴重な生き物である「コオイムシ」も見つかりました。気山の豊かな自然をみんなで守っていきたく願っています。

若狭町立みぞみ小学校



三十三地区を見下ろす三十三間山への登山活動、校舎の横を流れるはず川や休耕田での生き物観察、地域の方と共に文化活動を親しむクラブ活動等、校区に広がる豊かな自然や地域の文化・産業等を題材に、様々な活動や交流を通して地域の良さを発見し、ふるさとを愛する心情を育てようと、調べ学習や体験活動を進めている。今後これらの学習の成果を発信し、地域とのつながりを深め、次世代の三十三地区の担い手を育成していきたく。

越前市南中山小学校

5年生の赤米関連事業として、5月から田植え、稲刈りまでの赤米栽培や薬師寺への奉納に必要な神事の行い方を練習してきた。そして、10月31日に奈良県薬師寺に20名の児童が奉納に行った。古代衣装に身を包み、神輿を担いで薬師寺金堂へと向かった。金堂では口上を述べ、赤米を奉納した。奈良時代に南中山地区から遠く離れた奈良県に赤米を届けていたことからの伝統行事を今年度も5年生がしっかりと受け継いだ。また、6年生が赤米を使った献立メニュー作りを取組んでいる。修学旅行でのアンケート調査や二チレイフードとのコラボ事業にも取り組んでいる。2月ごろにメニューを完成させ、地域の方々へ試食していただき予定である。他学年でも、赤米について探究学習を行っていく。



若狭町立三宅小学校

全学年において学習支援システムSKYMENUを活用した授業づくりに取り組み、継続的に授業研究を行っている。授業で取り組んだICT活用の事例の蓄積を参考に、各学年、より有効なICT活用について日々授業実践を重ねている。また、現在、「地域交流会」(11月16日開催)における生活科や総合的な学習の時間での取組(ふるさと学習)の中間発表に向け、児童が主体となってプレゼンや動画作成等の準備を行っている。



若狭町立野木小学校

1・2年生は、9月に身近な野木川の生き物を観察した。県の里山里海湖研究所の協力のもと、網で生き物をとらえ、獲れた生き物について研究所の方に詳しく教えていただいた。4・5年生の稲作体験では、地元企業「たごころ農園」の協力を得て行った。先人の知恵や地域の農業を学ぶ絶好の機会となった。3・4年生においては、11月28日(木)に「フラワー交流(独居老人への鉢植えプレゼント)」を予定している。



小浜市立今富小学校

本校では、生活科や総合的な学習の時間に、地域の文化や自然、偉人などについて学習を進めている。これまで、校区の和久里地区に伝わる「壬生狂言」の体験や雲城水（うんじょうすい）くすまんじゅう調べ、南川の水質調査、田植えなど、各学年のテーマに沿って、児童が探究学習を進めてきている段階である。今後、学習したことを整理分析し、まとめ、他学年や保護者、地域の方に発表する計画である。



小浜市立口名田小学校

今年度は「みんなで口名田を盛り上げよう」と地域の行事である「ふるさと祭り」に参加することにしました。各学年が地域のよさや課題について考え、体験したり学んだりしたことを各ブースで発信。「木の实や落葉のおもちゃで遊ぼう」「動くおもちゃ作り」「口名田自然クイズ・パネル遊びコーナー」「防災体験コーナー」「口名田米の販売とふるさとガチャ・ふるさと学習発表・ふるさとギョウザ試食会」で楽しんでもらう予定です。



おおい町立名田庄小学校

人権週間に先立ち、LGBTQ+支援団体「なるっさ！ ALLY さばえ」代表の川口サマンサ氏を講師にお迎えし、全校児童及び保護者対象の人権教育講演会を開催した。「SDGsって難しい？」と感じていた本校の児童は、川口さんのお話により、節電や節水、マイバッグ持参等すでにSDGsを始めていることに気づき、「気になるゴールから始める」「1人の100歩より100人の1歩」を合言葉に、SDGsを自分事としたようだ。



小浜市立中名田小学校



10/7に地域の「ふるさとまつり」で、高学年が地元特産品の田村米の米粉を使ったクッキーを作り販売し、地域の方に田村米の良さをPRできた。中学年は、学校近くの愛宕山に登り、手作りの遊具を設置した「愛宕ランド」を作った。11/1には、保育園児と共に「愛宕ランド」を楽しんだ。愛宕ランドの活動では、近隣で熊の出没情報を多く聞いていたため、猟友会の方にも一緒についてきて頂く中で、山について学びを深めた。

おおい町立本郷小学校



本郷小学校では、教育文化活動助成事業を活用して、校内ボランティア活動を推進しています。活動名は本郷小学校マスコットにちなんで「うめりちゃんクラブ」です。10月22日には、玄関前のプランターに花の苗を植えました。ボランティアの呼びかけに応じて、自主的に参加した児童が活動を行いました。今までに参加して活動に慣れた上級生は、初めて参加する1年生に苗の植え方を上手に教えてくれました。



高浜町立和田小学校



地域の宝である和田ビーチに來られる方のことを考え、木の板を敷き詰めた遊歩道を作成した。和田ビーチから見える青葉山やビーチパラソル、スイカ等を描き、「ゆめロード」と名づけ設置した。ビーチの入り口から波打ち際までの歩く距離に着目し、ゆめロードを設置することで、熱い砂の上を歩くことを回避し、また車いす利用者やベビーカーを押す方等が利用できるようにと、町や地域の企業と協力して取り組んだ。

高浜町立青郷小学校



4年生は、総合的な学習の時間に探究学習に取り組んでいる。学校でのスイカ栽培の被害やごみ置き場での被害が多いと聞いたことがきっかけで、「カラスの被害をゼロにしよう」というテーマで学習している。その中で、1学期から「北海道環境パイオセクター」という会社に協力していただき、自分たちで多数のカラス除けのグッズを開発した。それを公民館講座で紹介をし、地域の人と一緒にカラス除けグッズを作る活動を行った。

福井市明道中学校



本校では、生徒会が「伝統明道あいっお」をスローガンに掲げ、「う」うたがすばらしい生徒を目指し、音楽科の学習を核にした音楽文化を根付かせている。前期は福井市連合音楽会、合唱祭、文化祭での学年発表と発表の機会を契機に表現力を磨いてきた。後期は日本の伝統音楽や諸外国の歌曲など、様々な音楽に触れ、表現の幅を広げていく。今後、専門家の講師をお招きし、和楽器の演奏を行う際に本助成を活用する。

おおい町立佐分利小学校

本校では、校内体育大会で4～6年生が一輪車演技を披露している。今年度も6年生をリーダーとしてフォーメーションやBGMを考え、自分たちの力で演技を作り上げた。



3年生以下の児童も、今回の助成金で購入させていただいた一輪車を用い、来年、再来年の体育大会を目標に、休み時間等に寸暇を借し練習に取り組み技能を高めてきている。上級生と一緒に練習する中で児童の縦のつながりを深めることにもつながっている。

おおい町立大島小学校

昨年度に引き続き、「ふるさと学習『大島・おおい町の魅力をPR』」に取り組んでいる。今年度は「効果的な発表」を意識して取り組んでいる。



効果的な発表のために児童からアイデアを募った。結果、大島太郎（マスコットキャラクター）が描かれた法被を制作した。法被を着用し各行事に参加したり、他校との交流の際に着用し発表を通して自分たちの住む「大島」「大島小学校」に愛着を持たせることができた。

福井市安居中学校

本校独自のプロジェクト学習（地域に関する探究学習）を通して、生徒の社会参画型学力とAgencyの育成を図る。



1年生は、安居地区で取り組まれている自然保護活動について学ぶために、公民館、安居の里を守る会等と連携し、ピオトープ草刈、古代米の稲刈り、末更毛川の水質調査を行った。

3年生は、西安居保育園児、安居小学生、地域の方の協力を得て行灯を作り、轟まつり、オシッサマのお渡りをライトアップした。

福井市至民中学校

例年、至民中学校と社南小学校で、地域ゆかりの地に直接集合して「地域の語り部」活動を行っていた。近年は高温下の野外活動のため熱中症のリスクがあり、今年度からオンラインでの開催を企画することとなった。



今回の助成金で購入したオンライン用スピーカー＆マイクの導入により、質疑応答の場面などで、多人数による双方向のやりとりが可能となり、有効に活用させていただいた。

福井市国見中学校

本校では、伝統的な活動として、地域の方などを特別講師に招き、和楽器演奏の学習を行っている。その学習成果発表の場として、毎年ハピテラスにおいて和楽器演奏会を開催している。



今年も10月10日(木)に開催し、多くの観客の中で堂々と演奏することができた。生徒が中心となって発表会の運営や演奏することで、達成感や自己有用感を高めることができた。また、今後は、地区の敬老会でも発表していきたい。

福井市大東中学校

1年生では、春の校外学習でえちぜん鉄道沿線にある各駅周辺で地域の宝探しをしたことをきっかけに、それらをクイズ動画で発信していくプロジェクトを立ち上げました。



ロケーション・ハンティングとして企画した再訪問の際には、多くの地域の人たちと関わることができ、地域の温かさにも気づくことができました。現在は、動画を見てくれた人たちが実際にその地を訪れてくれることをめざし、撮影に出かける計画を立てています。

福井市川西中学校



郷土を学ぶ学習や地域資源を活用した体験活動を各学年で進めている。今年度は、他市町や近隣県の伝統文化を学ぶことを通して、生徒の地域への愛着と誇りを醸成していくことを目標とする。

第1学年では、校区内の自然や伝統、名所・旧跡を学び、そこから他の地域にも興味を広げ、港町三国の市街地を探究した。第2学年では、他県の伝統文化等を学び、自分たちの地域との共通点や相違点を探ろうとしている。

福井市美山中学校



本校は、生徒会執行部や各委員会活動、学校祭、部活動など、様々な活動に対して、企画から運営までを生徒主体で行っている。特に、本校は、代々「美山の部屋」という縦割り班のグループを作っており、縦割りの多様な集団での協働的な活動が展開できている。生徒たちは、授業を含め、課題解決のための話し合いや、合意形成をはかったり意志決定をしたりする中で、互いのよさを認め合いながら、主体的に取り組む力を育んでいる。

福井市清水中学校



本校では全校生徒で「SDKP」(清水(S)活性化(K)プロジェクト(P))に取り組んでいる。本年度は殿下地区も加わり、地元5小学校区の公民館とタイアップして様々な活動を行うものである。各地区のそれぞれの活動を通して、地域のPRをしていく予定である。

福井市足羽第一中学校

今回で59回目を迎える母校訪問校歌一周駅伝競走大会を10月9日に実施した。教員の負担減のため、山道のコースを安全に走るため、プリンター付きストップウォッチ1台と動物よけのために設置するためのCDラジオ5台を購入させていただいた。



記録の処理もスムーズにでき、山道を走る生徒たちも安心して走りきることができた。

沿道での多くの地域の方々からの声援を受け、今年もこの行事を盛大に行うことができた。

永平寺町上志比中学校

上志比中学校1年生は総合学習の中で、地元の文化財保護委員会が作成した「ふるさと探求～史跡を訪ねて～」という冊子を元に、地元の史跡や名勝について、実際に現地に赴き地域の歴史語り部の方に説明を受けている。



そして上志比地区の魅力と地域の課題を探し考えたことを、文化祭で劇やカルタ取りを入れ保護者や地域の方々に発表した。12月は町「ふるさと学習発表会」、来年度は「ふるさとCMコンテスト」に出場予定。

あわら市芦原中学校

第1学年では、ふるさと学習の一環として、あわら市の歴史や文化を学ぶ「あわらの水道出前授業」、「北陸新幹線出前講座」を実施した。第2学年では、石川県金沢駅前にてあわら市PR活動を実施し、自分たちで作成したあわら市パンフレットの配付等を行った。特別支援学級では、あわらの特産品の梨栽培に向けて事前学習(受粉方法、摘蕾、摘果等)や体験学習(摘蕾、摘果、袋掛け、収穫等)を行った。



あわら市金津中学校

あわら市金津中学校の総合的な学習の中核である「あわら考幸学」の事業所訪問において、生徒たちは訪問先で商品開発を行ったり、様々な提案を行いました。自分たちの学習がどう地域に活かせるかを考えている様子が見受けられました。今回の訪問は生徒たちにとって貴重な学びの機会となり、彼らの視野を広げる素晴らしい経験となりました。年度末の最終発表に向けて今後さらに学びを深化させていきます。



坂井市立丸岡中学校



丸岡中学校では、「ふるさと探究学習」を通して、第3学年では「丸岡LOVERS」、第2学年では「丸岡LIKERS」、1年生は「丸岡FANS」と称し、縦割りグループでの活動も入れながら、ふるさとへの愛を深める活動しています。

特に「丸岡LOVERS」の活動では、地元企業等の協力を得て、テーマ別の探究学習を進めており、中間発表会では、「丸岡のよさ」について各グループが発表し、意見交換等を行いました。

坂井市立坂井中学校



坂井町の魅力を広め、課題を解決する地域探究学習

【活動1】「坂井ぶらり旅」ひと、もの、風景など、坂井町の魅力を、フォトブック、タブレットでのプレゼン、レポート形式など様々な方法で発表。
【活動2】「坂井町の農業について知ろう」坂井町で農業に携わる4人のゲストを迎え、講演会。
【活動3】「カレー作り」(秋季校外研修)地元で採れた米と野菜を、直売所「いねす」で購入し、野外炊さんを体験。

越前町立越前中学校

4月26日(金)に学校ポスター撮影を実施した。撮影を丹生高校写真部に依頼した。ポスターには、越前町観光連盟のQRコードも掲載し、町のPRもできるようにした。町内の公共施設や民宿等にポスター掲示を依頼した。修学旅行や職場体験では、ポスターをポストカードにして学校のPRを行った。



6月27日(木)には、水仙球根掘りのボランティアに参加した。水仙栽培農家から水仙栽培の現状と課題についてもうかがった。

越前町立織田中学校

本校3年生では、ふるさと学習の一環として「織田地区や越前町内を活性化し、若者を増やすために何ができるだろう」というテーマのもと、自分たちにできることを考え、活動している。



今回は、宮崎地区にある越前陶芸村を訪れ、陶芸の体験を通して織田地区や宮崎地区に古くから伝わる越前焼についての理解を深めた。実際に土に触れ、作品を作ることで、越前焼への興味や親しみが深まり、大変有意義な体験をすることができた。

越前町立朝日中学校

このたび教育文化活動助成金で、ビデオカメラを購入いたしました。本校では、生徒たちが「ふるさと学習」で調べたこと、考えたことを発表する活動を行っています。その学びの姿を、ビデオカメラで撮影しています。自分たちの発表の様子を動画で客観的に振り返り、相手により伝わるように、生徒が話し合い協力しながら、発表資料や話し方等を主体的に工夫する姿が多く見られます。今後は、調査活動等でも使用予定です。



越前市武生第三中学校

本校では、生徒たちの豊かな心を育むために、ボランティア活動を中心とした福祉教育を推進しています。そのひとつとして、地域の方々とともに取り組む「花いっぱい運動」に取り組んでいます。



この活動は、国高地区自治振興会の方々から花の植え方について教えてもらい、生徒たちが実際にプランターに花を植えて、学校前の道路に置く活動です。地域の方々とのふれあいを通して、地域を花で明るくしようという気持ちになっています。

越前市武生第五中学校



越前市内中学校が参加して実施された英語セミナーに、2年生が参加した。当日は、英語でコミュニケーションをとらなければならないため、思い通りに発言できずに苦労している様子ではあったが、自分の思いを伝えられるように工夫していた。また、今回の活動についての報告会を実施し、活動の内容や成果について全校生徒で共有した。さらに、写真や掲示物を文化祭でも展示することで、保護者や地域の方々にも活動の成果を発表した。

越前市南越中学校



1年生 観光パンフレットの作成の前段階として、地域の観光資源の調査活動を行った。6月下旬に調査活動、7月上旬にプレゼン講習会、9月上旬にプレゼンコンクール実施。今後、観光パンフレットを作成していく。

2年生 8月に職場体験活動を実施。希望する職場で勤務体験を行うだけでなく、今立地区の仕事についても学んだ。今後、地域の諸先輩方を招き、地域で生き、働いていくことについて講演を行っていただく。

小浜市立小浜第二中学校



小浜第二中学校は、小浜市の資質能力育成対策事業の授業力アップ研究校に小浜美郷小学校と共に指定されている。両校は昨年度から2年間をかけて小中連携して研究を進めている。本年度は、研究2年目のまとめの年となる。

また、2ヶ年の本校の研究主題を「探究する学校 ~学びを創る・つなげる~」とし、1年次(R5)は、学びを振り返り次の学びを創る(3S学習を通して「教科を探究的に学ぶ」)、2年次(R6)は、探究的な見方・考え方を生かし、学びをつなげる(「教科と探究を往還」させながらスパイラルに学び続ける)として研究を進め、その中で、令和の日本型教育の充実を図るべくICTの活用推進を研究することとする。また、教科と探究を往還させることで、今年で4年目を迎える縦割り探究活動の充実を図る。

福井県立藤島高等学校



藤島高校では、1年生から課題研究する力の基礎を育み、2年生で全生徒がテーマを設定し、課題研究に取り組んでいます。課題研究を進めていく中で、7月には大学・研究機関等の専門家を招聘して「質問会」を開催し、課題研究の深化・活性化を図っています。課題研究の成果は2月11日に本校で開催する文理融合藤島アカデミック・デイにて口頭・ポスターで発表する予定です。

福井県立高志高等学校



高志高校では、生徒全員が探究活動に取り組んでいます。自分の興味関心から生まれる自然科学分野での疑問やSDGsなど社会の課題について研究テーマを掘り下げ、課題解決に向けて研究に取り組んでいます。大学等の専門家の方々に助言をいただいたり、企業とコラボして商品・サービスを開発・提案したりするなど、外部とのつながりも大切にして活動を進めています。各種発表会や学会などで自分たちの研究成果を発信しています。

福井県立丸岡高等学校



本校はR4年度に開発した「探究型学習支援システム『みらい-DX-』」のプロトタイプを運用している。9月に生徒および教員を対象に、本システムを使用する際の操作性やアクセスのしやすさなどを評価するアンケートを実施した。現在、その結果から特に改善すべき点を2つ抽出し、システムの改良の段階に進んでいる。改良が完了次第、アップデートの内容を校内のすべてのユーザーに伝え、使い方講習を実施していく予定である。

おおい町立大飯中学校

おおい町のまちづくり塾の方を講師としてお招きし、「おおい町の未来のために中学生ができること」を考え取り組んでいる。今年度は「地域の商業施設をどう活性化するか」



をテーマに1年生63名が10グループに分かれ、それぞれのグループで活性化案を考えた。10月16日、24日に保護者、地域の方、地元の小学生などに対して、プレゼン大会および投票を行った。今後は投票で決定した案を学年全体で具現化していく予定である。



福井県立武生高等学校

探究理科2年生はグループごとに課題研究に取り組んでいます。釉薬の抗菌効果について研究しているグループが、金属を含んだ釉薬を複数準備し素焼きの皿に塗り、9月に越前陶芸村で焼き上げてもらいました。現在はその抗菌効果が大腸菌を利用して実験・検証しています。学校だけではできない実践を、地域の協力のもとに進めており、充実した活動となっています。



福井県立盲学校

【ビニールプール】
ビニールプールで、水遊びを楽しみました。筋緊張の入りやすい幼児ですが、水の中ではリラックスできて、ゆったりと身体を伸ばしていました。オモチャのじょうろで水を掛けたり、浮かべたカラーボールを手にとってみたりして、時間いっぱい水遊びを楽しみました。



また、今後、プールの中に新聞やボールを入れての遊びも予定しています。【巨大だるま落とし】
オータムスクールで来校した視覚に障がいを持った小学生の交流の一環(しクリエーション)として巨大だるま落としに挑戦しました。

福井県立福井特別支援学校



パラリンピックの開催に合わせて、パラリンピックの理解授業を実施した。パラリンピックの意義やシンボルマークに込められた意味などを紹介し、また、大会期間中は体育の授業時間内にパラリンピックの競技観戦を行った。

今後は、日本身体障害者アーチェリー連盟の協力を得てパラリンピック種目でもあるパラアーチェリーの体験会を実施する予定である。

福井県立福井南特別支援学校



大型のパネルシアターのセットをいただきました。新しいおはなしを見聞きたり、自分でおはなしを作って話したりしています。「でんでんむし」「きょうだいや」「かなしいかお…」「アップル!」などと気づいたことを話しながらシートを動かして楽しむ児童もいます。大きなパネルと、それに合わせた大きめのシートで、見やすく、また、手に取りやすくなりました。パネルシアターの場面では、言葉や身振りなどがあふれ出てきます。

福井県立南越特別支援学校



高等部では、作業学習で制作した「とんぼ」を近隣の県立高校に届けた。高校生と一緒にグラウンドの整備を行い、交流を図ることができた。また、きょうだいは6月に実施。モルックをしたり、バスボムづくりを行い、きょうだい一人ひとりが主役となる楽しい時間を過ごすことができた。同世代の子供達とつながり、活動を共にすることや地域に貢献することで、共生社会の一歩となることを期待する。



今年度、走力アップ教室を越前町立朝日小学校と福井市文殊小学校で開催いたしました。(ジブラルタ生命主催)

ご参加いただきましてありがとうございました。



越前町立朝日小学校



福井市文殊小学校



「学校応援キャンペーン」学校賞 当選校

今年度2回目の施策として、令和6年6月1日から8月31日までの約3ヶ月に亘り実施しました「学校応援キャンペーン」で、多くの学校管理職の皆さまからご応募いただきありがとうございました。

アンケートにお答えいただいた学校の中から、厳正なる抽選の結果、学校賞を贈呈する15校が決定しましたのでお知らせいたします。

- | | | |
|-----------------|------|--------------|
| ○高浜町立内浦小中学校 | 当選賞品 | 学校用ワタッチターペント |
| ○あわら市北潟小学校 | 当選賞品 | 学校用ワタッチターペント |
| ○坂井市立丸岡中学校 | 当選賞品 | 冷暖スポットエアコン |
| ○福井県立大野高等学校 | 当選賞品 | 大容量ポータブル電源 |
| ○福井市六条小学校 | 当選賞品 | 高圧洗浄機 |
| ○鯖江市立待小学校 | 当選賞品 | 高圧洗浄機 |
| ○福井県立道守高等学校 | 当選賞品 | 高圧洗浄機 |
| ○福井県立嶺南東特別支援学校 | 当選賞品 | 高圧洗浄機 |
| ○大野市富田小学校 | 当選賞品 | 高圧洗浄機 |
| ○小浜市立口名田小学校 | 当選賞品 | 高圧洗浄機 |
| ○大野市陽明中学校 | 当選賞品 | 高圧洗浄機 |
| ○越前市武生第二中学校坂口分校 | 当選賞品 | 高圧洗浄機 |
| ○坂井市立春江中学校 | 当選賞品 | 高圧洗浄機 |
| ○勝山市立勝山南部中学校 | 当選賞品 | 高圧洗浄機 |
| ○越前町立系生小学校 | 当選賞品 | 高圧洗浄機 |

第28回 ボランティア・スピリット・アワード 受賞校 決定

(公財)日教弘の共済事業の提携保険会社であるジブラルタ生命が主催する、「ボランティア・スピリット・アワード」は、ボランティアに取り組む中学生・高校生を応援するプログラムです。優秀な青少年たちの取り組みを称え、「ありがとう」の言葉とともに感謝の気持ちを込め、各賞を贈呈しています。

日本では1997年にスタートし、今年度で28回目を迎えました。福井県では下記的高等学校が受賞され、先日賞状をお持ちしました。

コミュニティ賞 (高校生部門)

 **福井県立大野高等学校 [JRC 結]**

 **福井県立福井商業高等学校 [JRC部とその仲間たち]**



令和7年度 日教弘福井支部事業計画

事業名	対象	募集・申請期間	給付時期	助成内容	備考	
奨学事業	貸与奨学金	本年度大学・短大等に入学された生徒(在籍者も可能)：13名程度	4月1日～5月30日	8月下旬～	最大100万円(1学年25万円)	無利子貸与
	給付奨学金	中学3年に在学中で学習意欲があり、次年度高校進学を希望する生徒で、学校長が推薦する生徒：4-2名	10月上旬～11月末	翌年4月上旬	8万円	返還不要
	大学給付奨学生	高等学校・特別支援学校・高等専門学校3年に在学し、修学意欲があり、次年度大学進学を希望する生徒で、校長が推薦する生徒(各校1名まで)：4名	8月1日～9月16日	翌年5月～	月額3万円(4年間)	返還不要
教育研究助成事業	教育研究団体助成	県内の幅広く有益な教育研究を行う団体 ※校長会・教頭会等の団体、小・中・高の教育研究団体等	4月1日～5月30日	7月中旬	10～15万円以内	申請書、役員名簿、成果報告書、会計報告書が必要
	教育研究大会助成	県内を会場とした県、東海・北陸、全国の研究大会を開催する教育研究団体	仮受付：～1月31日 本受付：4/1～5/30	7月中旬	5～30万円以内	申請書、役員名簿、成果報告書、会計報告書が必要
	教育研修助成	教職員の実質向上を図ることを目的に実施する校内研修会等の運営 ※経費・研修図書等の費用を補助 ※今年度は、 鯖井・南越・二州・若狭地区の小学校	6月2日～6月30日	7月下旬	3～5万円以内	申請書、成果報告書、会計報告書が必要
	特別支援学校教育支援	国・県立特別支援学校：6校 ※教育文化活動助成との併用不可	4月1日～6月30日	7月下旬～	5万円以内	申請書、成果報告書、会計報告書が必要
	教育実践研究論文の募集	①学校部門 ②個人部門 各学校及び教育機関等並びにそこに勤務する教育関係者個人及び研究グループ等	4月上旬～10月17日	3月下旬	入賞 3万円 最高 50万円	学校・個人の中から3編を本部に推薦 ※支部奨励あり
教育文化事業	教育図書贈呈	県内の小・中・高・特支校・公立幼稚園・公立認定こども園に教育図書の贈呈 ※今年度は、 小学校	5月1日～5月30日	7月～	1～5万円以内	教育図書選定基本もくろみから本を選挙、成果報告書が必要
	教育文化活動助成	創造的で特色ある教育文化活動を行っている、小学校・中学校・高校・特別支援学校：70校 ※へき地、特支教育支援との併用及び前年度助成を受けた学校の申請は不可	4月1日～6月30日	7月下旬～	8万円以内	申請書、中間報告書、成果報告書、会計報告書が必要
	へき地・複式学校教育支援	準へき地・複式学校に指定された学校：20校 ※教育文化活動助成との併用不可	4月1日～6月30日	7月下旬～	5万円以内	申請書、成果報告書、会計報告書が必要
	文化スポーツの振興	児童生徒の教育文化・芸術・スポーツの振興をめざす各種大会・イベント企画・運営等を支援 ※北陸大会以上	仮受付：～1月31日 本受付：4/1～5/30	7月中旬	5～20万円以内	申請書、役員名簿、成果報告書、会計報告書が必要
福祉事業	宿泊補助	日教弘の指定宿泊施設を利用する会員とその家族	ご利用の7日前まで	随時	会員 3,000円 家族 2,000円	自分で予約した場合に限る(年間4泊)
	結婚祝金	ご結婚された会員	随時	随時	7,000円 ギフト券	申請はご結婚1年以内
	出産祝金	お子様が誕生した会員	随時	随時	7,000円 ギフト券	申請はご出産1年以内
	小学校入学祝金	お子様が小学校に入学した会員	随時	随時	7,000円 ギフト券	申請はご入学年度内のみ
	高等学校入学祝金	お子様が高等学校に入学した会員	随時	随時	5,000円・ 7,000円 ギフト券	申請はご入学年度のみ 加入日数・年数によって祝金額が異なる
	銀婚祝金	教弘保険の継続が10年以上で銀婚式を迎えられた会員	9月1日～9月30日	11月中旬～	カタログギフト	加入日数・年数によって祝金額が異なる
	満30歳健康祝金	年度内に満30歳を迎えられる会員	申請不要	上期：8月 下期：2月	5,000円 カタログギフト	
	満45歳健康祝金	年度内に満45歳を迎えられる会員	申請不要	上期：8月 下期：2月	5,000円 カタログギフト	
	映画鑑賞会	【映画鑑賞会】退職会員とその同伴者1名	開催時期に合わせ別途案内	開催の2週間前	ペアで 250組500名	申込が必要 ※応募多数の場合は抽選
		【映画鑑賞会】現職会員	利用可能期間に合わせ別途案内	利用可能期間に 合わせ随時	2枚1組を 100組200枚	申込が必要 ※応募多数の場合は抽選
人間ドック受診補助	人間ドック・脳ドックを受診された51歳以上の会員 ※定年ドック・定期健診・健康診断は除く	受診後2ヶ月以内	申請日から 2ヶ月以内	5,000円	申請書、領収書の写しが必要	
国内研修旅行	退職会員	時期：11月頃 先行：(企画中) 助成：2万円				

福祉関連事業	新採用御祝	新採用教職員	4月～6月	4月上旬～	数点の中から選ぶ	ジブラルタ生命保険の学校担当者がご案内	
	(新規)日教弘クラブオフ入会ありがとうプレゼント	新規日教弘クラブオフ入会者	申請不要	随時	お楽しみグッズ	ジブラルタ生命保険の学校担当者が持参	
	新規加入記念品	新規教弘保険加入者	随時	随時	A4バインダー	ジブラルタ生命保険の学校担当者が持参	
	校長昇任御祝	校長昇任者	申請不要	4月～6月	高級ボールペン	参事・役員が持参	
	教頭昇任御祝	教頭昇任者	申請不要	4月～6月	名刺入れ	参事・役員が持参	
	退職記念品	教弘保険、又は教弘付属保険に加入の退職予定者	申請不要	随時	今治タオルセット	ジブラルタ生命保険の学校担当者が持参	
	継続記念品	ユース教弘保険満了時に新教弘保険に移行継続された会員		随時	随時	蛍光ペン6色セット	ジブラルタ生命保険の学校担当者が持参
		教弘保険に令和2年度加入し、継続5年を終えられ、今年度6年目に入る会員		申請不要	上期：8月 下期：2月	若狭塗箸	ジブラルタ生命保険の学校担当者が持参
		(新規)教弘保険に平成27年度加入し、継続10年を終えられ、今年度11年目に入る会員		申請不要	上期：8月 下期：2月	若狭塗箸	ジブラルタ生命保険の学校担当者が持参
		退職時に教弘保険を継続された会員		申請不要	8月下旬	若狭牛すき焼肉A-5ランク	自宅に直送
	新教弘保険A型等の65歳満了時に新教弘保険K型に移行継続された会員		随時	随時	非接触型体温計	ジブラルタ生命保険の学校担当者が持参	
講師・未加入者対応グッズ	講師及び未加入者	申請不要	随時	クリッカートペン	ジブラルタ生命保険の学校担当者が持参		
おたのしみプレゼント	全教職員(クイズ&アンケート)	6月16日締切	7月中旬～	豪華賞品	年1回		

(公財)日本教育公務員弘済会福井支部 福祉事業



人生100年時代、今から始める マネープラン教室

参加費
無料

▶今は忙しいけれど、リタイアメントライフは豊かに楽しく過ごしたい。そんな皆様の将来を美りあるものとするために、今から出来ることをわかりやすくご説明します。

所要時間：1時間程度



主な内容

- ずっと楽しみたいこと…
これから楽しみたいこと…
- 老後は2,000万円あれば足りる?
- リタイアメントライフの収支
- リタイアメントライフの
資金準備のポイント
- どのように積み立てて、
どのように取り崩すか?
- 医療や介護が心配なのは何歳から?
- 不測の事態に備える

セミナーを受講された方の声

- ・ライフプランを考えることの大切さを強く感じました。よい学習の機会になりました。
- ・まだまだ先のことだと思っていたが、今から考えておかなければならないことだと実感しました。
- ・よい“きっかけ”をいただきました。自分の生活設計を見直したいと思います。
- ・30~40代の人こそ、聴くべき話だと感じました。
- ・日頃忙しなかなか考えることができない分野・内容について専門的な立場の方からゆっくりお話を聞く機会がとれて良かったです。

(公財)日本教育公務員弘済会福井支部 福祉事業

教職員の皆様へ **これだけは知っておきたい**

年金 早わかり講座

安心して豊かな人生のために

(2024年5月改訂)

▶こんな教職員の皆様には是非受講をおすすめします!

- ✓ お忙しくて、自分で調べたり各種セミナーに出掛けるような時間がない方
- ✓ 年金について自分で調べても情報が少なくて困っている方
- ✓ 「私はまだ若いから年金はまだ先の事だね。」と思っておられる方
- ✓ 新任の教職員の方など年金について、あまりご存知ない方
- ✓ 老後の必要生活資金に関心がある方、気になっている方

▶教職員の皆様だけにご用意した特別な講座です!

- 学校単位で開催できます
- 30分程度の時間なので、お忙しい皆様にピッタリです
- 中立公平な立場での情報提供スタイルの講座です

* 講座の中で個別の商品解説やセールスを行うものではありません。

受講希望番号	セミナー名	所要時間
1	マネープラン教室	60分
2	教職員用年金早わかり講座	30分~60分

FAXで申込み下さい。申込み先：(公財)日教弘福井支部(担当：竹原)
※セミナー担当は、共済事業(提携保険事業)提携会社ジブラルタ生命保険(株)がご提供いたします。

FAX 0776-23-1828

TEL 0776-23-4433

学校名						受講希望 番号
ご担当者						
ご連絡先	TEL					
第1希望日時	令和	年	月	日	時間帯	時~時
第2希望日時	令和	年	月	日	時間帯	時~時

令和7年度 貸与奨学生募集



大学・短期大学・高等専門学校・専修学校専門課程に在籍または入学が決定している学生に奨学金を貸与します

- 募集人数 : 13名程度
- 貸与金額 : 修学年度1年につき25万円。最大100万円を無利息で一括貸与
- 募集期間 : 令和7年4月1日～令和7年5月31日
- 返還方法 : 卒業した年の12月から5年(100万円の場合は10年以内)で年賦返済
- 申請方法 : 福井支部までお電話にてお申込みください。手続きについてご案内いたします。
※申請時提出書類: 奨学生申請書、付属調査票、連帯保証人の収入証明書、在学証明書
※内定後提出書類: 奨学金借用証書、連帯保証人の印鑑登録証明、誓約書
- 備考 : 福井支部教育振興事業選考委員会にて選考後、6月中旬頃に結果を通知いたします。
- 問い合わせ先 : 公益財団法人日本教育公務員弘済会福井支部 奨学金担当 TEL : 0776-23-4433



令和7年3月末ご退職予定の皆様へ

12月7日に嶺北会場・嶺南会場にて、福井県学校生活協同組合様と合同で開催いたしました、退職予定者説明会にご参加いただき、ありがとうございました。

この説明会でもご説明させていただきましたが、退職後は教弘保険の保険料が給与引去りできなくなりますので、福井銀行の口座振替に変更手続きをしていただく必要がございます。

手続きの方法については、共済事業提携会社のジブラルタ生命の学校担当者がご案内をさせていただきます。

ご退職後も豊かで安定した生活を送るためには、万が一に備えての保険は必要です。

ご退職後もぜひご継続ください。

また、教弘保険に未加入の方はご加入をご検討されるラストチャンスです。



映画鑑賞券の贈呈について

当支部では福祉事業の一つとして、教弘保険加入者様(現職)を対象に、会場を選択制にさせていただきます映画鑑賞券の贈呈をいたします。つきましては、下記内容にて2枚一組を100名様に贈呈いたします。詳しくは、各学校等へ送付した案内文書をご覧ください。皆様方からのご応募をお待ちしています。

●有効期限 : 令和7年12月31日まで

●会場 : テアトルサンクまたはアレックスシネマ(鯖江・敦賀 どちらかで使用できます)

※応募多数の場合は抽選となります。当選者のお知らせは、「鑑賞券」の発送をもってかえさせていただきます。

編集・発行 公益財団法人 日本教育公務員弘済会福井支部
株式会社 福井教弘

〒910-0005 福井市大手 2-22-28 教育センター 3階

TEL : 0776-23-4433 FAX : 0776-23-1828

メールアドレス fukui@nikkyoko.or.jp



↓↓ 各種申請書はこちらから ↓↓

日教弘福井支部

検索

